

最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅲ

日技生涯研修単位 申請中

〔重要なお知らせ〕

本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。

つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生
- 東京都内在住または在勤の歯科技工士

〔申込開始日〕

- 東京都歯科技工士会会員 : 8月1日(金) AM10時~
 - 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 8月4日(月) AM10時~
- *受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

〔申込方法〕

- ① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

*定員になり次第締切といたします。



申込用

〔LINE公式アカウント登録のお願い〕

緊急連絡、変更＆追加報告をスムーズにさせるために都技ではLINE公式アカウントを設けています。LINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



都技LINE公式
アカウント二次元コード

〔お問い合わせ〕

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail : togi-info@to-ginet.com

2025年度

最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅲ

ハイブリッドセミナー

歯科技工士の未来は、
“理念”と“経営力”で拓く

島 隆寛 先生 ((一社)日本歯科技工所協会 理事)

歯科技工における生産管理の重要性

品質と効率を両立させるための取り組み

大下 弘 先生 (歯科技工士/徳島県歯科技工士会所属)

フルマウスボーンアンカードブリッジ
症例での歯科技工士の役割

歯科医師・歯科技工士それぞれの役割を共有する

井汲 建 先生 (歯科技工士/徳島県歯科技工士会所属)



Tokyo master course Science Lecture

〔開催日時〕

2025年 8月31日

入室 12:40 開始 13:00 → 終了 17:00

オンライン

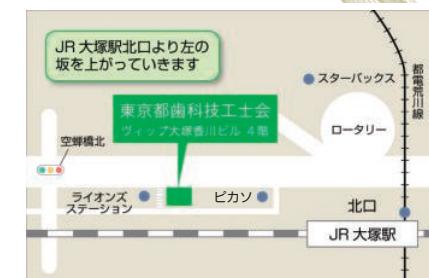
定員 80名 参加費 無料

会場受講

定員 30名 参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室

東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

歯科技工士の未来は、“理念”と“経営力”で拓く

近年、歯科技工業界を取り巻く環境は大きく変化しており、将来を見据えた事業運営には、従来の「技術力」に加え、「理念」と「経営力」が不可欠な要素となっています。歯科技工士が経営者としての視点を持つことの重要性に焦点を当て、業界が抱える課題を整理するとともに、持続可能な事業運営に向けた具体的な考え方と手法を解説します。

まず、収益性を確保するためには、感覚に頼るの

ではなく、数字に基づいた経営判断が必要であることを示し、単価設定や時間管理の視点から収益構造を可視化する方法を紹介します。次に、「選ばれる理由」や「信頼の構築」といった理念経営の実践方法について取り上げ、企業としての価値を高めるための考え方を提示します。

さらに、実務と経営の両立を図るための具体的なアプローチとして、週1時間から始める経営活動や

業務の見える化の重要性についても解説します。

技術・経営・理念の三位一体による組織づくりが、歯科技工所の持続的な成長を支える大きな力となります。本講演を通じて、経営は一部の限られた人のものではなく、すべての歯科技工士が主体的に取り組めるものであることを共有し、参加者の皆様が第一歩を踏み出すための実践的なヒントをお届けできれば幸いです。

歯科技工における生産管理の重要性 品質と効率を両立させるための取り組み

近年、少子高齢化に伴う歯科医療ニーズの多様化、保険制度の変化、さらには人材不足といった課題により、歯科技工所はこれまで以上に「品質の維持」と「業務効率の向上」を同時に求められる時代へと移行しています。こうした状況下において、業務の安定運用と持続的な成長を支える鍵となるのが「生産管理」の考え方です。歯科技工における生産管理とは、納期や工程の計画、作業進捗の管理、品質管理、在庫・材料の管理、3S、人員配置の最適化など、複数の要素を組み合わせて統合的に管理する仕組みです。歯科技工物ごとの作業工程を標準化し、

誰が、いつ、どの作業を担当しているかを見える化をすることで工程間のムダやバラつきを把握しやすくなります。これにより作業の偏りやボトルネックを早期に発見でき最適な作業工程が可能となります。

次に、品質と効率の両立には人材の適正な配置が重要です。経験や技術の違いに応じて作業を分担することで、熟練歯科技工士の技術を最適に活かしつつ、若手歯科技工士の育成にもつながります。さらに、作業手順のマニュアル化や教育プログラムの整備によって、品質の安定化と属人化の排除を図ることができます。歯科技工所が今後も顧客からの信頼

を維持し、競争力を高めていくためには、感覚に頼る属人的な技工作業から脱却し、データやロジックに基づく生産体制への転換が求められています。生産管理は単なる「作業の見える化」ではなく、品質の向上、納期遵守、コスト削減、そして人材育成といった多方面に影響を及ぼす、経営基盤強化の中核的要素です。

本講演を通じて、歯科技工業務における生産管理の本質とその可能性について理解を深め、参加者の皆様が各自の現場で活かせる実践的な知見を持ち帰っていただければ幸いです。

フルマウスボーンアンカードブリッジ症例での歯科技工士の役割 歯科医師・歯科技工士それぞれの役割を共有する

インプラント治療における治療計画の作成方針は「補綴主導型」と「外科主導型」に大きく分けられます。従来は「外科主導型」が一般的でしたがインプラント体の埋入位置や方向が、上部構造の機能や審美性の確保に向けておらず、スクリュー破折や緩みなどの補綴的トラブル、自浄性・清掃性が確保できないことによるインプラント周囲炎の発症等様々な問題を生じ、治療結果に対する患者のQOL向上に乏しい症例が存在することが指摘された為、1990年代後半より「補綴主導型」が主流となっていました。

補綴主導型とは、最初に治療ゴールを補綴的（どのような歯を作るのか）に検討し、模型やCT画像やシミュレーションソフトなどを用いて、治療前にインプラントの埋入位置を決めたりする方法です。その為、補綴主導型の術前診断において歯科技工士が製作する、診断用ワックスアップの形態・位置・咬合関係がインプラントの埋入ポジションから最終補綴装置の形態まで全てにおいて関係してきます。また即時負荷のフルマウスインプラント症例ではプロビジョナルレストレーションの強度・咬合が重要

でありインプラント治療の成否を決めてしまうことがあります。

本講演ではフルマウスインプラントを製作するにおいて歯科技工士が悩まず製作していただけるよう4つの工程「術前」「プロビジョナルレストレーション」「最終補綴装置」「補修」についてそれぞれの工程でのポイントをお話しいたします。参加者の皆様が明日の臨床に活かしていただけると幸いです。

■講師略歴

島 隆寛 [しま たかひろ]

日本歯科技工所協会 理事

略歴

1999年 4月	第一勧業銀行（現みずほ銀行）入行
2001年 9月	株式会社シケンへ入社取締役就任
2002年 4月	株式会社シケン常務取締役就任
2003年 6月	株式会社シケン代表取締役社長就任
2003年10月	株式会社ケエスト代表取締役社長就任
2020年 7月	徳島県教育委員会委員就任
2022年 6月	一般社団法人日本歯科技工所協会経営理事就任
2023年 4月	一般社団法人徳島ニュービジネス協議会会長就任



■講師略歴

大下 弘 [おおした ひろし]

歯科技工士／徳島県歯科技工士会所属

略歴

1989年 4月	株式会社シケン入社
1999年 4月	徳島歯科学院卒業
2009年 6月	徳島県歯科技工士会理事就任
2016年 6月	株式会社シケン取締役就任
2017年 6月	徳島県歯科技工士会専務理事就任
2020年 6月	日本歯科技工学会理事就任
2024年 6月	株式会社シケン常務取締役就任
2024年 6月	日本歯科技工学会副会長就任



■講師略歴

井汲 建 [いくみ たける]

歯科技工士／徳島県歯科技工士会所属

略歴

1993年 4月	大阪歯科大学附属技工士専門学校卒業
1994年 4月	大阪歯科大学附属技工士専門学校専攻科卒業
1994年 4月	ナキ歯研入社
1996年 6月	株式会社ジュバルツ入社
2002年 3月	株式会社シケン入社

